成章会年報

第53号

愛知県立成章高等学校
成章会事務局

〒441-3421
愛知県田原市田原町池ノ原1
TEL（0531）22-0141
FAX（0531）22-6466
印刷所㈲大陽社印刷所

ふるさとに想う

成章会会長　石黒　功

暑中お見舞い申し上げます。

平素は成章会活動にご支援、ご協力いただき誠にありがとうございます。

この夏は過去に経験ないほどの猛暑が続いていますがいかがお過ごしでしょうか？

さて世界は激しく変化し、国内外では多くの問題が勃発しています。そんな中、同窓生の皆様もそれぞれに課題を抱えていらっしゃることと思いますが、物事に行き詰まったり、自分を見失いそうになったら、〝故郷（ふるさと）〟を思い出してください。

〝ふるさと〟の定義は、育った場所、生まれた場所、父母・家族が住む場所、長く住んだ場所、祖先のお墓のある場所、本籍の場所などいろいろあると思いますが、皆さんにとって〝ふるさと〟はどのような場所でしょうか？

離れた所で暮らしている同窓生の皆様にとって、お盆やお正月など渥美線やバスに揺られ、遠くに衣笠・蔵王を眺めれば、〝ふるさと〟に帰ってきたと感じるのではないでしょうか？

私自身も特に海外出張で緊張し、疲れて帰ってきた時など、蔵王山が目に入ると、ホッとすることがしばしばあります。そしてこれほど恵まれた〝ふるさと〟があることに感謝するばかりです。

〝ふるさと〟は心の原点でもあります。原点に帰っていろんなことを思い返すと、力がみなぎり、勇気を与えてくれます。

渥美半島も都会ほどではありませんが、地域開発が進んで皆さんが過ごした幼少時の跡形がなくなってしまったと思う方もいるかもしれませんが、大切なのは物理的な場所でなく、心の〝ふるさと〟ではないでしょうか？

家族はもちろんのこと、恩師、仲間、同級生と共に学び、遊び、汗を流し、語り合った日々は私たちの原点です。

昔と比べ、昨今の教育環境は変化しているとは言うものの、在校生には勉学のみならず、地元の自然、歴史、伝統・文化などにも関心を持って〝ふるさと〟を愛し、心豊かに、逞しく生き抜く力を身につけて、社会に出た後、人生の目的意識や志の熟成を目指してもらいたいと思います。

話は変わりますが、〝ふるさと〟というと今、全国各地でふるさと納税が注目されています。

この制度は〝ふるさと〟を応援するという趣旨でスタートしましたが、返礼品目当てに利用している人が少なくありません。

原点に戻って自分の〝ふるさと〟を応援するという目的で活用して頂きたいものです。

田原市、豊橋市には一年を通してフルーツ、花、肉などの農産物のほか魚介、食品加工品など魅力のある特産品が沢山あります。

また最近では宿泊・体験なども充実をしています。

是非ふるさと納税を通じて、〝ふるさと〟田原・豊橋を思い出し応援をしていただきたいと思います。

最後に、最近〝ふるさと〟に関することで元気をいただいたことを3つ、紹介します。

1．同窓生の快挙にエール！

今年6月、井本万正さん（高29回）がベルギー王国から民間人に授与される最高位のレポルド勲章オフィシエ賞を授与されました。誠におめでとうございます。

先日の関東成章会で93歳の現役医師の大村益一さん（中29回）が車いすで参加され、元気に歓談されていました。その行動力に頭が下がりました。益々のご健勝をお祈りいたします。

2．田原市ふるさと納税5倍増！

令和4年度に比べ、令和5年度は出品事業者も増え、合計32、925件の納税があり、納税額も約5倍（5億6445万円）に増え、令和6年度は更に倍以上になる勢いです。

出品事業者からは納税者からの感動レビューが届き、リピーターが増えていると喜びの反響が届いています。

3．アイアンマンが渥美半島を駆け抜ける！

昨年6月に開催された第一回アイアンマン70・3東三河ジャパンin渥美半島には母校在校生151名がボランティアとして参加してくれました。一年空けて来年6月6～8日に田原市・豊橋市を舞台に第二回大会を開催すると発表されました。

大会に関わる者として、安全確保をしっかり行い、選手は元より、地元住民の皆さんからも愛され、期待される大会を目指します。

探究する

校長　青山昌俊

同窓生の皆様には、日ごろより母校に対し、御支援・御協力を賜りありがとうございます。

母校の校長に就任して四年目を迎えます。成章会の皆様や地域の方々から温かい御支援、御協力をいただいていることに感謝しながら、職員、生徒とともに成章高校の一層の発展を目指し、教育活動に取り組んでまいりたいと思います。

さて、令和4年度より学習指導要領が改訂され、年次進行で新しい教育課程に移行し、今年度で3学年まで進みました。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善に取り組んでいます。改訂された学習指導要領では「探究」が重視されています。「たんきゅう」は2つの漢字で書くことができ、「究める」と書く「探究」と、「求める」と書く「探求」があります。前者は、深く掘り下げて物事の本質を見究めようとする気持ちが旺盛なことを表します。後者は、何かを手に入れようと探し求めることです。成章高校では、深く掘り下げ、物事の本質を見究める力を身につけるために、「総合的な探究の時間」を中心にすべての授業で「探究」することを目指しています。私たち卒業生の高校時代には「総合的な探究の時間」というものはありませんでした。学びというものは暗記が中心の時代でもありました。うらやましくも思います。これからを生きる生徒の皆さんには、興味あることや疑問に思うこと等から課題を自分で設定し、調べる方法も自分で考え、深く調査し、まとめ上げ、発表することを通して、思考力・判断力・表現力を身につけ、未来の創り手となることを期待しています。また、他者の発表から、多様な生徒、多様な学びがあることを理解してほしいと思います。成章高校には普通科、総合ビジネス科、生活文化科の生徒がおり、他校にはない多様性を最大限活かしていきたいと考えます。

令和6年度の東海高等学校総合体育大会に陸上部男子で走り幅跳びに出場した生徒の話を紹介します。高校1・2年生では県大会には出場できましたが、記録を大きく伸ばすことができませんでした。彼は、高校2年生の終わり頃、記録を大きく伸ばすために何をすれば良いのか考えたそうです。そこで、自分で調べた結果、体作りからやり直すことを決めました。自分で決めた取組を徹底して継続し、3年生最後の東三大会で大きく記録を伸ばすことができました。愛知県大会、東海高校総体でも自己記録を伸ばし続けました。インターハイには届きませんでしたが、この成長は大きな自信になってくれたと思います。彼の取組も「探究」であると思います。このように、学習面だけでなく、様々な場面で探究できるのだと思います。

今、高校の普通科改革が注目されています。成章高校でも、「探究」も含め、授業を中心に、学校行事や部活動、そして校則まで少しずつ変わってきています。今年度の教育実習生が「いい感じで変わってきたよね」と話していました。この認識が地域に広がり、選ばれる学校なることを期待しています。

母校成章高校が輝き続けられるように、精進してまいりたいと思います。今後とも、御指導・御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

令和5年度成章会　一般会計決算書

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

収入総額　2,110,467円
支出済額　1,467,300円
残　　額　643,167円（翌年度へ繰越）

（1）収入の部　（単位：円）

科目	予算額	収入済額	差額増減額	備考
前年度繰越金	1,028,959	1,028,959	0	
入会金	935,000	930,000	▲5,000	5,000円×186名
維持会費	500,000	93,529	▲406,471	現金2名10,000円+振込15名83,529円
総会費	0	20,000	20,000	総会時お祝金
雑収入	6	37,979	37,973	預金利息4円、名簿会計解約残高37,975円
合計	2,463,965	2,110,467	▲353,498	

（2）支出の部　（単位：円）

科目	予算額	支出済額	差引残額	備考
新入会員歓迎費	200,000	167,772	32,228	卒業記念品代（卒業証書ファイル）
地区助成費	406,160	405,940	220	各50,000円＋振込手数料
総会費	100,000	38,360	61,640	会場費、講演謝礼、お茶代
会議費	50,000	6,240	43,760	理事会お茶代
通信交通費	550,000	255,803	294,197	郵送費、地区総会来賓交通費
印刷費	300,000	199,100	100,900	成章会年報第52号、「くすのき」印刷代
消耗品費	150,000	45,639	104,361	名簿データCD（高26回）、宛名シール（高45回）
慶弔費	400,000	142,896	257,104	ハンドタオル製作費、退任役員記念品、香料、生花
ホームページ管理費	55,550	55,550	0	サイト保守管理55,000円＋振込手数料
雑費	100,000	0	100,000	
基金	100,000	100,000	0	令和5年度積立金
名簿管理費	50,000	50,000	0	会員名簿データの維持管理費
予備費	2,255	0	2,255	
合計	2,463,965	1,467,300	996,665	

令和6年度成章会　一般会計予算書（案）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

収入予算額　2,338,173円
支出予算額　2,338,173円
残　　額　0円

（1）収入の部　（単位：円）

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
前年度繰越金	643,167	1,028,959	▲385,792	
入会金	895,000	935,000	▲40,000	5,000円×179名
維持会費	500,000	500,000	0	
総会費	300,000	0	300,000	会費4,000円×75名
雑収入	6	6	0	普通預金利息
合計	2,338,173	2,463,965	▲125,792	

（2）支出の部　（単位：円）

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
新入会員歓迎費	200,000	200,000	0	卒業記念品代
地区助成費	407,920	406,160	1,760	各地区成章会への助成金（振込手数料R5.10より990円に）
総会費	300,000	100,000	200,000	会場費、懇親会費等
会議費	50,000	50,000	0	理事会のお茶代等
通信交通費	500,000	550,000	▲50,000	総会案内はがき、郵送費、地区総会への交通費
印刷費	250,000	300,000	▲50,000	成章会年報印刷代、「くすのき」印刷代
消耗品費	100,000	150,000	▲50,000	宛名シール、名簿データＣＤ、封筒
慶弔費	250,000	400,000	▲150,000	卒業50周年ハンドタオル、香料
ホームページ管理費	55,880	55,550	330	サイト保守管理55,000円＋振込手数料（R5.10より880円）
雑費	50,000	100,000	▲50,000	
基金	100,000	100,000	0	基金会計への積立金
名簿管理費	50,000	50,000	0	会員名簿データの維持管理費
予備費	24,373	2,255	22,118	
合計	2,338,173	2,463,965	▲125,792	

第74回成章会総会日程

日　時　令和6年8月11日（日）10：30 ～ 13：30
会　場　崋山会館
次　第

Ⅰ部　定時総会　10：30 ～ 11：20
1　開会のことば
2　黙　祷
3　会長挨拶
4　校長挨拶
5　来賓挨拶・紹介
6　議長選出

議　事
第1号議案　令和5年度成章会事業報告
第2号議案　令和5年度成章会一般会計決算報告
第3号議案　令和5年度成章会特別会計決算報告
第4号議案　令和5年度国際交流基金会計決算報告
監査報告
第5号議案　令和6年度成章会事業計画案
第6号議案　令和6年度成章会一般会計予算案

7　報告事項
8　お祝い・記念品贈呈
卒業50周年のお祝い・・・高26回
9　新理事の紹介・挨拶
10　閉会のことば

Ⅱ部　記念講演　11：30－12：00
「ママたちが“つながり”未来を変える
～ママってHAPPY!をコミュニティから～」
講師　中田　結美　氏（高46回）

Ⅲ部　懇親会　12：10－13：30
1　開会のことば
2　会長挨拶
3　乾　杯
4　懇親会
5　万歳三唱
6　閉会のことば

令和5年度事業報告

1　理事会　5・5・27
令和4年度事業および会計報告
令和5年度事業計画および会計予算案・総会日程

2　総会運営担当年次打合せ会　5・5・27

3　総会　5・8・6
記念講演　伊藤芳和氏（高45回）
「ユーモアのススメ」

4　地区成章会
岐阜成章会　5・6・24
名古屋成章会　5・9・3
遠江成章会　5・10・7
三重成章会　5・10・22
豊川成章会　5・10・29
豊橋成章会　5・11・4
関西成章会　5・11・23

5　新入会員受入式　6・2・29

令和6年度事業計画（案）

1　理事会　6・5・11
令和5年度事業および会計報告
令和6年度事業計画および会計予算案・総会日程

2　総会運営担当年次打合せ会　6・5・11

3　総会　6・8・11
記念講演　中田結美氏（高46回）
「ママたちが〝つながり〟未来を変える～ママってHAPPY!をコミュニティから～」

4　地区成章会
名古屋成章会　6・5・19
関東成章会　6・6・9
岐阜成章会　6・6・29
遠江成章会　6・10・13
三重成章会　6・10・20
豊川成章会　6・10・27
豊橋成章会　6・11・2
関西成章会　6・11・4

5　新入会員受入式　7・2・28

成章会役員

（任期　令和5年8月～令和7年8月）

会長　石黒　功　高23回
副会長　河合利則　高24回
藤井正剛　高25回
渡邊澄子　高26回
今泉隆一　高27回
小川金一　高27回
鈴木雅也　高28回
監事　眞木正五　高21回
寺田ゆう子　高24回
幹事　高崎雄三　高31回
鈴木通之　高29回
会計　市川三枝子（事務長）
岡田展知（教諭・高51回）
顧問　青山昌俊（校長・高36回）
白井文吾　中27A
松井　昭　高16回
山下政良　高19回
理事　小久保朝雄　高13回（関東成章会）
山田典男　高27回（遠江成章会）
河合勝男　高15回（豊橋成章会）
杉原茂行　高17回（豊川成章会）
鈴木靖之　高23回（名古屋成章会）
中神　定　高19回（岐阜成章会）
神谷卓芳　高15回（三重成章会）
中村光彦　高11回（関西成章会）
森下保幸　中29回
夏目　勝　中30回
林　俊夫　併2回
鈴木登美　高女
鵜飼光夫　高1回
渥美昌夫　高2回
伊藤又次　高4回
立岩清見　高6回
鈴木冨也　高7回
仲井丈二　高8回
広中恒男　高9回
鈴木眞一郎　高10回
横田克彦　高12回
辻　義郎　高13回
岩瀬　洋　高14回
鈴木康夫　高15回
花井勝朗　高16回
大久保文夫　高18回
冨田哲秀　高19回
伊藤朝一　高20回
杉浦　拡　高21回
河合康彦　高22回
岡田惣二　高23回
山田　眞　高24回
鈴木政義　高25回
山下芳宏　高26回
今泉隆一　高27回
高崎康彦　高28回
奥田哲男　高29回
上藤敦史　高30回
廣中清介　高31回
河合弘幸　高32回
大場幸司　高33回
斉藤俊久　高34回
彦坂登一朗　高35回
石原恭次　高36回
大武茂男　高37回
鈴木慎吾　高38回
鈴木義正　高39回
山上勝由　高40回
河合洋文　高41回
林　樹一郎　高42回
井本教貴　高43回
仲谷謙一　高44回
和田聖二　高45回
木下秀人　高46回
大村高久　高47回
藤井悦司　高48回
佐久間崇裕　高49回
河合隆一郎　高50回
河合真樹　高51回
樅山義則　高52回
藤江信彰　高53回
渥美孝晃　高54回
藤城　豊　高55回
今泉太嗣　高56回
大村剛史　高57回
大河雅実　高58回
河合　歩　高59回
鈴木雄大　高60回
岩澤優作　高61回
吉田光司　高62回
林　健太郎　高63回
寺田峻佑　高64回
佐々木悠介　高65回
奥村祐也　高66回
鵜飼樹人　高67回
神谷勝久　高68回
松井貴滉　高69回
土井雅也　高70回
稲垣　柊　高71回
土井文胤　高72回
杉浦大地　高73回
岡本幸樹　高74回
牧野快翔　高75回
三原啓暉　高76回

第76回卒クラス理事

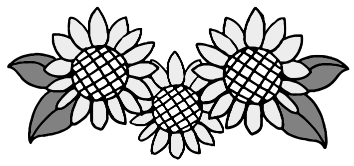
学年代表理事　三原啓暉
1組　鈴木悠平　中村ほのは
2組　鈴木好誠　坂神琴美
3組　齋竹和歩　清水咲恵
4組　三原啓暉　鶴岡芯理
5組　伊藤柚季　山内夕夏

本年度転出の先生方

林　浩己（教頭）豊丘
竹本晴美（教諭）三谷水産
田端峻之（教諭）守山
小柳津明巳（再任用）渥美農業
小野城治（再任用）渥美農業
前川昭広（再任用）蒲郡
酒井隆彰（臨時的）小坂井
本臼克行（主事）時習館

本年度転入の先生方

加藤亮吉（教頭）御津あおば
尾崎優子（教頭）豊橋南
富永加代子（教諭）初任
内藤　剛（教諭）時習館
渡部大貴（教諭）杏和
倉地知希（教諭）初任
堂本亜美（教諭）初任
滝澤成人（再任用）国府
坂神弘和（再任用）豊橋商業
岩井宇宙（臨時的）蒲郡
河合将志（主査）福祉局



令和5年度　国際交流基金決算書

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

収入総額	8,837,745円
支出済額	0円
残　高	8,837,745円（翌年度へ繰越）

収入の部　（単位：円）

科　目	収入済額	摘　用
繰越金	8,837,745	
寄付金	0	
雑収入	0	
合　計	8,837,745	

支出の部　（単位：円）

科　目	支出済額	摘　用
留学生受入補助	0	
留学生交通費等	0	
短期派遣補助	0	
合　計	0	

令和5年度成章会　特別会計決算書

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

（単位：円）

会計名	収入済額	支出済額	差引残額
基金会計	7,356,928	0	7,356,928
成章後援会計	6,415,783	947,080	5,468,703
名簿会計	37,975	37,975	0

〈内訳〉　（単位：円）

会計名	収入の部		支出の部	
基金会計	前年度繰越	7,256,866		0
	令和5年度積立	100,000		
	預金利息	62		
	合計	7,356,928	合計	0
成章後援会計	前年度繰越	5,680,731	弓道部東海大会出場祝金（団体）	30,000
	卒業50周年寄付（高25回生）	700,000	弓道部東海大会出場祝金（個人）	10,000
	預金利息	52	陸上部東海大会出場祝金	10,000
	寄付金（高23回3年4組古希クラス会）	35,000	弓道部全国大会出場祝金	20,000
			弓道部国体東海大会出場祝金	10,000
			弓道部国民体育大会出場祝金	20,000
			弓道部東海選抜大会出場祝金	30,000
			生徒下駄箱	563,200
			オオタザクラ管理費	253,880
	合計	6,415,783	合計	947,080
名簿会計	前年度繰越	37,975	名簿会計解約し、一般会計へ入金	37,975
	預金利息	0		
	合計	37,975	合計	37,975

令和5年度大学・短大・専修各種学校合格者数および就職先一覧

【1】進学先合格者総計

学校別	現役	過年度卒	小計
国立大学	18	1	19
公立大学	10	0	10
国公立小計	28	1	29
私立大(東日本)	6	5	11
私立大(中部)	160	7	167
私立大(西日本)	21	2	23
私立小計	187	14	201
国公立短大	0	0	0
私立短大	8	0	8
大学校・専修各種学校	46	0	46
短大・専修各種小計	54	0	54
合計	269	15	284

【2】学校別

(1)国立大学

学校別	現役	過年度卒	小計
宇都宮	1		1
金沢	2		2
富山	1		1
静岡	5		5
浜松医科	1		1
愛知教育	1		1
名古屋工業	1		1
豊橋技術科学	1		1
岐阜	2	1	3
三重	1		1
鳥取	1		1
福岡教育	1		1
合計	18	1	19

(2)公立大学

学校別	現役	過年度卒	小計
高崎経済	1		1
山梨県立	1		1
富山県立	1		1
静岡県立	2		2
愛知県立	2		2
名古屋市立	1		1
滋賀県立	1		1
大阪公立	1		1
合計	10	0	10

(3)私立大学

①東日本

学校別	現役	過年度卒	小計
桜美林	1		1
関東学院	1		1
国士舘	1		1
帝京		1	1
東海	2		2
東洋		1	1
日本体育	1		1
文京学院		1	1
明治		1	1
立正		1	1
合計	6	5	11

②中部

学校別	現役	過年度卒	小計
愛知	19	1	20
愛知学院	3		3
愛知工科	1		1
愛知工業	11		11
愛知淑徳	13	2	15
愛知東邦	2		2
桜花学園	1		1
岡崎女子	1		1
金沢工業	5		5
岐阜聖徳学園	2		2
金城学院	3	2	5
至学館	1		1
静岡理工科	4		4
椙山女学園	2		2
鈴鹿医療科学	5		5
聖隷クリストファー	1		1
大同	3		3
中京	11		11
中部	6	1	7
中部学院	1		1
東海学園	5		5
豊橋創造	4		4
豊田工業	1		1
常葉	4		4
名古屋外国語	7		7
名古屋学院	4		4
名古屋学芸	4		4
名古屋商科	2		2
名古屋女子	4		4
名古屋造形	2		2
南山	3		3
日本赤十字豊田	1		1
日本福祉	2		2
人間環境	1		1
浜松学院	1		1
福井工業	2		2
藤田医科	2		2
名城	16	1	17
合計	160	7	167

③西日本

学校別	現役	過年度卒	小計
大阪大谷	1		1
大阪産業	1		1
大阪成蹊	1		1
関西学院	4	1	5
京都外国語	1		1
京都産業	2		2
近畿	4	1	5
四条畷学園	1		1
同志社女子	1		1
奈良	1		1
立命館	3		3
龍谷	1		1
合計	21	2	23

(4)私立短期大学

学校別	現役
愛知大短大部	5
岡崎女子短大	1
豊橋創造大短大	1
名古屋文化短大	1
合計	8

(5)大学校・専修各種学校

学校別	現役
あいちビジネス専門学校	1
ECC国際外語専門学校	1
大原簿記情報医療専門学校	2
加茂看護専門学校	2
更生看護専門学校	1
コーセー美容専門学校	1
公立瀬戸旭看護専門学校	1
慈恵歯科医療ファッション専門学校	1
seventeen美容専門学校	1
中部コンピュータ・パティシエ専門学校	3
トヨタ看護専門学校	1
豊橋歯科衛生士専門学校	4
豊橋調理製菓専門学校	2
トライデントコンピュータ専門学校	2
トライデントデザイン専門学校	1
名古屋医健スポーツ専門学校	2
名古屋ECO動物海洋専門学校	1
名古屋医療秘書福祉&IT専門学校	1
名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院	2
名古屋観光専門学校	1
名古屋情報メディア専門学校	1
名古屋スイーツ&カフェ専門学校	1
名古屋鍼灸学校	1
名古屋調理師専門学校	1
名古屋辻調理専門学校	1
名古屋ビジュアルアーツ	1
名古屋ビューティーアート専門学校	4
名古屋ユマニテク調理製菓専門学校	2
日本聴能言語福祉学院	1
東三河看護専門学校	2
合計	46

【3】就職先一覧

事業所名	普通	総ビ	生文
アイシン㈱			1
愛知海運産業㈱		1	
愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院		1	
愛知みなみ農業協同組合		6	1
㈲一倉トミヤ			1
㈱ウッドワン		1	
蒲郡信用金庫		1	
ヴィレッジフーズ㈱			1
㈱三五			1
㈱シーパレス		1	
スズキ株式会社		1	
大三紙業㈱		1	
中部電力パワーグリッド㈱		1	
㈱デンソー		2	
東京製鐵㈱		1	
トヨタ自動車㈱	1	1	
㈱中神種苗店			1
ビューテック㈱		1	
㈱マエザワ			1
有楽製菓㈱豊橋夢工場			1
自衛隊	1		
田原市消防職員		1	
田原市職員		1	
合計	2	21	8

成章会維持会費納入者一覧（敬称略）

井上　秀樹　高15回
金子　知俊　高15回
鈴木　直人　高15回
伊藤　充良　高25回
佐野　朝海　高25回
鈴木　雅也　高28回
春日　幸美　高35回
石黒　奈穂　高45回
伊藤　隆彦　高45回
大久保直宏　高45回
河邉　朋弘　高45回
川合　靖幸　高45回
鈴木　俊行　高45回
水落由美子　高45回
矢野　貴洋　高45回
土井　文胤　高72回
イトウ　チカラ

成章会ホームページ充実してきました

令和3年2月に成章会ホームページを開設しました。成章高校、成章会の情報を発信しますのでぜひご覧ください。

成章健児の活躍

陸上部

令和6年度 東海高等学校総合体育大会 陸上競技大会 走幅跳 出場

顧問　石田　裕太郎

5月17日に岡崎龍北スタジアムで行われた愛知県総体で、3年生の田中大雅が男子走幅跳で東海総体出場を決めました。田中は1年生の県新人、2年生の県総体、県新人と同じこの岡崎の競技場で県大会を戦ってきましたが、これまではどの試合でもピークを合わせられず、不本意な結果に終わっていました。特に2年生の間は記録も伸び悩み、苦しむ日々が続きました。しかし田中は小学生の時から続けてきたこの走幅跳という競技から逃げ出すことなく、自分を信じて練習を積み重ね、3年生の春にはコンスタントに6ｍ50を超える力を付けました。そして4月末の東三総体で6ｍ77の自己ベストを出して優勝し、県総体へ乗り込みました。

県総体当日は風向きが目まぐるしく変わり、追い風か向かい風かで助走距離が変わるこの競技にとっては大変難しい条件の中での試合となりました。しかし田中はこれまでの経験を活かし、落ち着きをもって競技に臨み、1本目の大きな跳躍がファールとなった後でも慌てず、助走を調整して2本目に東三総体の記録を8㎝更新する6ｍ85を跳んで6位に入賞し、東海進出を決めました。

二週後に行われた東三選手権でも田中は好調を維持して6ｍ89とベストを更新し、その勢いのまま東海総体に臨みました。東海総体は6月14日に気温35℃を超える猛暑の岐阜メモリアルパークで行われ、田中はここでも2本目に追い風参考ながら自己記録を更新する7ｍ00を跳びました。各県の上位記録者も追い風の中でファールを重ねて調子が上がらず、2本目終了時点では決勝進出ラインの8番を上回る全体の5番目につけていましたが3本目に記録を伸ばせず10番目に後退し、4本目以降の決勝進出はなりませんでした。全国総体にはあと一歩（実際は15㎝です）及びませんでしたが、田中はこの春に大幅に自己記録を伸ばしたことで、大学でも走幅跳を続ける意欲が湧いてきたと言っています。助走スピードや筋力など、伸びしろはまだまだたくさんあります。彼の走幅跳への情熱が、今後さらに実を結ぶことを期待しています。

地区成章会だより

名古屋成章会
会長　鈴木靖之（高23回）

コロナ禍規模を縮小して四年ぶりの開催となりました名古屋成章会は、令和五年九月三日（日）ルブラ王山で、本部成章会石黒会長、山下田原市長、青山校長先生はじめ、五十六名のご参加をいただき開催されました。

名古屋成章会は、成章会名古屋支部として平成十四年に発足しましたが、今回四年間の中断を経ての開催となり、再会された会員の皆様は、相互の無事に安堵され旧交を温められていました。

Ⅰ部の総会は司会・進行の原幹事の開会のことばで始まり、浅野前会長はじめ、鬼籍に入られました会員の皆様には、これまでのご功労に感謝し黙禱を捧げました。

会長と副会長が選任され、鈴木名古屋成章会会長が役員・幹事を紹介した後、会長挨拶、来賓のご紹介に続き、会計報告が承認され、閉会のことばで無事終了しました。

Ⅱ部では「成章高校の現状と課題～取り巻く環境を踏まえて」と題し、講師の石黒会長と青山校長先生にご講演いただきました。

石黒会長からは、一昨年の成章高校創立百二十周年事業への協力により、母校改修や生徒の海外研修の充実が図られたことへの感謝のことばが述べられました。

また、地元田原市では成章高校同窓生が、行政はじめ地域の様々な分野で活躍していることや、一方で資料をもとに、現在の出生率低下が人口減を加速し、市内の三高校存続の危惧など、現状の問題提起と、同窓会を挙げて母校や田原市をどう盛り上げていくかが喫緊の課題であることなどをお話しいただき、「ふるさと納税」をご紹介いただきました。

青山校長先生からは、少子化や市外への進学者増加に伴う人口減や入試制度のグループ再編などで定員割れが続き、学校の存続が深刻化している現状をご説明いただきました。地元だけでなく同窓会も含め広く関心を持っていただくことの重要性や、学校側としては課外学習・部活動にも力を入れ、文武両道で面倒見の良い成章高校を中学生にPRしたり、百二十余年の歴史の安心感を背景に各界で活躍する卒業生を迎えて開催する講演会などの取り組みをお話しいただきました。

Ⅲ部懇親会は中央ロビーへ移動して階上より参加者全員の集合写真を撮影した後、「田原のうた」とともに登壇いただいた山下田原市長にご挨拶をいただいた後、伊藤幹事長の乾杯の発声で開宴しました。藤城信幸様（高25回）による「渥美半島の昭和を記す会」発刊の「渥美半島の昭和」「渥美半島の戦後」の書籍のご紹介と、中日新聞に掲載されたイノチオホールディングの沿革とスピリットなどが紹介されました。校歌の歌詞付きテープ演奏に会場一体となり最高潮に達しました。

終始和やかな雰囲気の中、遠路ご参加いただきましたご来賓、他地区会員の皆様に心より感謝し、再会を祈念しつつ、十四時、令和五年度名古屋成章会は閉幕しました。

（文 入野麻子　写真 鴨下加代子）

遠江成章会
会長　山田典男（高27回）

令和五年度遠江成章会の総会及び懇親会を十月七日（土）に浜松市北区引佐町井伊谷の「いいのや」にて、本部石黒会長、青山校長、他地区幹事の方々の参加のもと開催致しました。

総会の中で青山校長より、成章高校の現状についてお話がありました。私（高20回）の時代と比べ大きく変化していることに驚きました。例えば、①学年のクラス数が5～6に減少したこと②田原市から豊橋市の高校へ進む中学生が約半数であり、逆に豊橋市から田原市へ入るのが約三割などです。

懇親会では、佐藤伸二相談役がユーチューブで見つけた「田原のうた」の放映がありました。歌詞の中には、地元出身の人間でないと理解できない地名（六連、谷熊、保美など）、全国に誇れる景色や名産品が出てきて、田原市ってすばらしいと感動し、まさに名曲だなと思いました。

その後、岐阜成章会の武山副会長が「田原のうた」に合わせてフラダンスを披露されました。遠江からも三名（山田、金子、中村）が加わり、武山さんの後ろで動きをまねながら踊りました。

関西成章会の中村会長からは、成章高校応援歌の独唱があり、すばらしい声量と記憶力に非常に感動しました。

最後に参加者全員の近況報告を行いました。初めて聞く内容も披露され、お互いを理解できる貴重な時間となりました。

短い時間でしたが、有意義なときを共有できました。本日ご参加の皆さま、ありがとうございました。

中村三也（高20回）

三重成章会
会長　神谷卓芳（高15回）

令和五年度・第十二回三重成章会は、令和五年十月二十二日に、四日市市高砂町の「伝七邸」にて、成章会会長石黒様、青山校長先生はじめ、遠江成章会の相談役の佐藤伸二様、豊橋成章会会長河合勝男様、名古屋成章会会長鈴木靖之様、岐阜成章会会長中神定様、関西成章会会長中村光彦様にご来賓いただき、また他地区の会員の方々にご参加頂いて、出席者二十九名（三重地区からは八名）と、数は多くはないものの、大変和やかな雰囲気で開催することができました。

三重成章会は、県内の会員は勿論、他地区からきて頂く皆様に三重県の良さを知って頂きたいとの思いから、毎年開催場所をどこにしようかと工夫しています。桑名、四日市、鈴鹿、と、来て頂くのに無理のない、素敵な所で、と考えています。

五年度の開催場所の「伝七邸」は、明治二十九年から東洋紡創始者伊藤伝七の別邸として利用されていた建物で、渋沢栄一をはじめとする多くの財界の偉人や文化人が集い、思いを馳せた場所です。「次年度は伝七邸で開催したい」と決めて、楽しみにしていたところ、コロナ禍で何度も中止せざるを得ませんでした。五年度はやっと開催できて、役員一同本当にほっとしているところです。

私の知る限りでは、成章会のような同窓会は本当に珍しく、同級生だけでなく、卒業年度のちがう卒業生が集って、それも、県単位、地区単位で会があり、また他地区の会へも多くの参加者があるなどという組織は聞いたことがありません。こういう会が存続していくという基本には、成章会会員の一人一人に、伝統のある成章高等学校で若き日々を過ごしたという誇りと、渥美半島に対する並々ならぬ郷土愛があるからだと思います。なかなか参加者が増えていかないという悩みもあり、いろいろ議論はあると思いますが、こういう会はなくしてはいけないと、コロナ禍を経験した今、しみじみ思います。

会は、いつも通り、総会、懇親会と進みました。

懇親会では、「加藤流三絃道 The津軽三味線」を聞いて頂きました。総会までの緊張した雰囲気が残っている会場に、力強いバチさばきが響き、皆さん次第にリラックスしていきました。手拍子をうち、「ソーラン節」、「ふるさと」などの曲は出演者の方々と一緒に歌って楽しみました。

素晴らしいお天気にも恵まれ、美味しいお料理に舌鼓を打っているうちに「あら、もう時間なの？もっと話したいのに」ということになってしまいました。

中村光彦様の成章高校応援歌、成章高校校歌斉唱、万歳三唱でお開きとなりました。他地区の方から、「いい所で開催してもらってよかった」、「来年も来たい」とのお言葉を頂けたこと、役員一同心より有り難く思っています。他地区から、七名の方に初めてご参加頂けたこと、とくに名古屋成章会の皆様に多く参加して頂けたこと、このことも、役員一同心より

感謝しています。本当に有り難うございました。

恒例の、三重県成章会顧問の水谷玲子手作りのブルーベリージャム、そして今年度は、桑名産干たけのこの筍しぐれをちいさなお土産にお持ち帰りいただきました。

小野田紀子（高18回）

豊川成章会

会長　杉原茂行（高17回）

令和五年度豊川成章会懇親会を十月二十九日（日）豊川駅近くの「サーラプラザ豊川」で開催しました。四年ぶりの開催と豊川会員の高齢化で参加者の減少が予測されたため、今回は規模を縮小して開催を計画。そんな中、本部の石黒会長、青山校長先生にはご出席いただきました。石黒会長は成章会の現状や田原市における人口減少・少子化の課題等を説明されました。青山先生からは母校の後輩たちが勉強やクラブ活動に頑張っている様子や学校が定員割れをしている事などが紹介され、縮小化社会の厳しい現実を痛感しました。

また、青山先生は六月九日に田原で開催された「トライアスロン世界大会」で成章から「地域の役にたちたい・自己啓発のために」等で150名を超える後輩たちがボランティア参加し大会を盛り上げた事がお話しされました。会員からは「いいねぇ、頑張っているねぇ、嬉しいねぇ」等の声がありました。母校の活躍はいつ聞いても心地よいものですね。

今回の懇親会は少人数ながらも参加者の皆さんには美味しい食事をたくさん食べて飲んで会話して親睦を深めていただくことを重視。乾杯後はまさにそのとおりとなり生ビール片手に大変盛り上がりました。会長や校長先生とは普段話す機会はありませんが、多くの方が懐かしい話や近況などについて笑顔一杯で会話されていました。プレゼントタイムでは高17回鈴木廣明さんから長年取り組んでいる趣味の陶芸作品が全員にプレゼントされました。珈琲カップ・湯呑・一輪挿し・飾り物作品に皆さん大変喜んでいました。その後、いただいた湯呑を毎日使っている、庭の椿を挿して玄関に置いている等の声がありました。続いてジャンケン大会を行い、勝者三人の方には「奥三河の花風景」「三河湾の漁船風景」「ドイツの旧市街風景」の大判写真が各三枚ずつプレゼントされました。

今回は久しぶりの開催でしたが中身の濃い内容で楽しかったという声もありました。来年も今年程度の規模で開催すべきかと考えています。ありがとうございました。

豊橋成章会

会長　河合勝男（高15回）

令和5年度豊橋成章会懇親会を十一月四日（土）に市内の高千穂会館にて、四年ぶりに、本部より石黒功同窓会会長　青山昌俊校長先生をはじめ、各地区成章会会長の方々、当番年の高35回生を中心とした多数の同窓生の方々にご出席を賜り開催致しました。

今回の懇親会では、市内にお住まいの、内科医　三木隆治先生を講師にお招きし「還暦以後の健康生活」と題し、講演をお願い致しました。

ご自身の体験を混じえながら、分かり易い短いフレーズで、還暦以後を楽しく暮らす為のヒントをたくさんお話してくださいました。

乾杯のあと懇親会が始まると、久しぶりのクラスメイトとの再会で、思い出話しに盛り上がる輪、部活動の先輩後輩で当時の苦労話しを懐かしむ輪、親子ほどの年齢差なのに思わぬところで共通点があり、その話に夢中になっている輪が、会場の至る所で広がっていて時間を忘れて語り合う事が出来たようです。ご出席された方々から「開催してくれてありがとう」という言葉をかけて頂き、大変うれしく思います。また、皆様の笑顔を拝見でき、本当に良かったと思いました。

会の最後には、校歌と応援歌を斉唱しました。久しぶりに大きな声で歌う校歌は、とても懐かしく、高校時代に思いをはせるひと時となりました。応援歌の斉唱では、関西成章会会長の中村光彦さんにマイクを預け、自慢の喉を鳴らしていただきました。野球部のOBは、肩を組む様な勢いで力一杯の熱唱でした。

大合唱で会を締めくくる事ができ、とても活気溢れる会となりました。この活気が、来年度以降も続いていく事を願っております。

来年もまた、十一月の第一土曜日にお会いできます事を楽しみにしております。

追伸　令和六年度の豊橋成章会懇親会は令和六年十一月二日（土）十八時より高千穂会館にて開催の予定でございます。

豊橋にお住まいの方々その他の地区にお住まいの方々のご参加をお待ちしております。

野中直子（高35回）

関西成章会

会長　中村光彦（高11回）

新型コロナウイルス感染症の五類への移行に伴い、四年振りとなる関西成章会総会が、令和5年11月23日にホテルヴィスキオ尼崎にて開催されました。総勢62名の出席でした。

ご来賓として、石黒功成章会会長、鈴木雅也同副会長、及び神谷卓芳（三重）、河合勝男（豊橋）、中神定（岐阜）、鈴木靖之（名古屋）、山田典男（遠江）の各地区成章会会長に加え、恩師の中島秀吉先生、青山昌俊成章高校長、マナフラサークル講師の長縄訓枝様、日本舞踊師範近藤みどり様をお迎えしました。

第一部総会は、河合裕一幹事の司会で進行しました。校歌斉唱に続き中村会長が挨拶。久々の総会開催の喜びと、明日への力となる新たなスタートになればと熱い思いを語られました。

続いて石黒会長から、田原市の人口が減っている上に田原市生まれの約半数の子が田原市以外の高校に進学する現状があることが紹介され、同窓会としても対策としてできることをしていきたいというお話がありました。

鈴木正直田原市副市長からは、野球部が関西成章会にお世話になっていること、田原市が農業・工業・商業のバランスのとれた豊かな地域であること、大学進学で他府県に出た人たちに戻ってきて欲しいことなどが伝えられました。

青山校長からは、生徒の三分の一が豊橋市から来ていることや、国公立大学への進学者が少なくないこと、文化祭や部活でも頑張っていることなどが紹介されました。

次に議事として事業報告、決算報告、役員補充案について審議され、原案通り承認されました。

第二部はフラダンスを中心としたアトラクションでした。長縄先生と近藤先生による「カッパ踊り」からスタート。続いてレイをつけた武山教子岐阜成章会副会長と当会男性幹事2名（大羽・中神）も登壇し、長縄先生の明るく元気なご指導の下、「田原のうた（伊藤秀志作曲・詞・歌）」に合わせてフラダンスに挑戦。客席の私たちも手振り身振りで楽しみました。

♫菜の花とそよ風と・・・サーフボードが波を駆け抜ける♫

歌詞に込められた田原の魅力にふるさとを懐かしく思い描くことができました。

その後、武山副会長が独りで見事なフラダンスを披露されました。

続いて半田一清先生（故半田一雄当会相談役のご子息）と学生3名による「詩吟・剣舞」の実演がありました。詩吟の奥深い世界の一端に触れたような豊かな気持ちになりました。

最後は近藤みどり先生による日本舞踊でした。誰もが知っている「瞼の母」を情感豊かに演じられ、心にしみました。

盛り沢山のアトラクションでしたが、演目それぞれに感動し、心の栄養剤となり、元気を頂いたように思います。

第三部の懇親会は毛受副会長の司会のもと、91歳になられた白井重光様（高3回）による乾杯の音頭に始まり、各テーブルで食事をしながらの歓談となりました。

懇親会後半には抽選プレゼントタイム。渥美半島特産のポインセチアとミニトマト、琵琶湖のえび煎餅、舞妓さんの団扇など空くじなしの抽選会でした。それぞれの当たりくじに会場は笑顔にあふれていました。

楽しい会も終わりに近づき、今は無き野田中学校出身の皆さんが、野田中学校の校歌を披露してくださいました。続いて成章中学校・高校の校歌、応援歌の大合唱が行われ、森下監事による万歳三唱、大塚新副会長の閉会の辞をもって散会となりました。

心身健康、美意延年。心も体も丈夫にそして楽しい気持ちを持ち続ければ自然と長寿につながるとか。次回はより多くの皆様と楽しい時間を過ごせることを期待しております。

中津川千穂子（高19回）

名古屋成章会

会長　鈴木靖之（高23回）

コロナ禍を経て、昨年開催より半年ぶりとなりました名古屋成章会は、令和六年五月十九日（日）ルブラ王山にて、本部石黒同窓会会長、山下田原市長、青山校長先生はじめ他地区会員の方々のご参加のもと他地区に先駆け開催させていただきました。

I部の総会は昨年に引き続き、石黒会長あいさつで成章会の現状報告に

加え、会の存続のため若年層の参加呼びかけが急務との課題を挙げられました。

来賓・成章会役員紹介に続き、会計報告・承認の後、名古屋成章会監事選任及び24年度役員・幹事等紹介と、青山校長からは成章会と成章高校の様子について、少子化による高校の定員割れが続くか情報発信し伝統を引継いでゆくことの必要などご報告がありました。

また、今年度は名古屋成章会の取り組みとして伊藤幹事長、中島幹事より3年前の創立120周年を機にHP作成とSNSによる情報提供を開始したこと、会員への成章会情報発信や開催のご案内（出欠確認）ご連絡方法を、個人情報など配慮しながら会員の皆様によるアンケート調査結果をもとに、希望者にはLINE連絡で効率化していく方向性など発表させていただきました。

Ⅱ部で「自然と笑顔があふれる渥美半島づくり」と題し、高42回（株）渥美フーズ代表取締役渡会一仁さんによりご講演いただきました。

ゼロ・ウェイスト・ショップ（必要な分だけ買える量り売りやリユース容器の使用によりゴミを出さずに買い物ができる店舗）への取り組み展開や、店舗から出る生ごみをたい肥化して資源循環させるエコサークル活動を推進させる取り組みのほか、2035年エコガーデン構想：山や海のおいしいものがあふれるオーガニック半島。食やエネルギーを循環させ、食や自然の達人が集まるエコツーリズムで長期滞在できる地球にやさしいオアシスに渥美半島を位置づける目標を社を挙げて掲げ、半島活性化に向けて大変夢のある構想と取り組みを熱く語っていただき、紙面では語り尽くせないほど密度の高いお話で、会場大好評で締めくくられました。

会場後方にエコサークル産物にして愛知県環境賞優秀賞受賞「めぐるたまご」、権威あるマーマレードコンテスト銀賞受賞の「ぬくとんばら甘夏ジャム」、展示即売など盛りだくさんのお土産も印象的でした。

Ⅲ部懇親会は中央ロビーへ移動して、恒例の階上より参加者全員の集合写真撮影に続き「田原のうた」とともに、山下田原市長にご挨拶いただき、校歌と関西成章会会長中村さん音頭による応援歌に会場一体となり大いに盛り上がりました。

終始和やかな雰囲気の中、遠路ご参加いただきましたご来賓、他地区会員の皆様に心より感謝し、再会を祈念しつつ、令和六年度名古屋成章会は盛況のうち閉幕しました。

（文 入野麻子　写真 鴨下加代子）

関東成章会

会長　小久保朝雄（高13回）

コロナ禍で長い間、開催できなかった総会を、やっとかめで開催できました。前回は令和元年六月のことでしたので、五年ぶりということになります。

それまでは、学年の持ち回りで世話役を引き継いできていたのですが、その流れが途絶えてしまっていました。しかし、どんな形であれ総会をやりたいという声が上がり、臨時特命チームで事にあたることになったのです。

昭和六十三年の第一回から数えて、コロナ前の令和元年の総会は第三十二回となっていました。先輩たちが築いてきたその長い歴史を途切らせてはいけないという思いと、コロナ禍で満たされなかった、集うことへの渇望が、総会再開への原動力となりました。

チームは各自の得意技を持ち寄り、新たな時代の先進ツールを活用して、準備を進めました。それと同時に、銀行口座や、会員名簿、会則なども整備し直す必要がありました。再出発はまさに「プロジェクトX」でした。

令和六年六月九日（土）多くの方のご協力を賜り、総会が東京ミッドタウン日比谷六階のレストラン「ドローイング・ハウス」で開催されました。

幸運にもこの年は梅雨入りが二週間遅れていたので、心配された雨も降らず、また暑すぎることもなく、会場は柔らかな光で包まれていました。屋外のテラスでは参加者九十五名全員での記念写真を撮影することもできました。

地元からは、石黒成章会会長、鈴木雅也副会長、青山成章高校校長、田原市の伊藤教育長にご参加いただきました。また渥美半島観光ビューロー様や林養魚様のご厚意により渥美半島の美味しい食材をご提供いただき、一流シェフにオシャレに調理していただきました。また会場のテーブルを飾った花も渥美半島から送られてきたものでした。

卒業生の大久保佳代子さんやヤクルトスワローズの小川泰弘投手、テキサスで牧場を営むマイク大谷さんからは特別にビデオメッセージを送っていただきました。

また、成章出身で、東京で歌手活動を続けている鈴木美景（みひろ）さんにも歌をご披露いただきました。

乾杯から、閉会の挨拶まで女性が担当し、会費も男女差をつけなかった点も大きな進展と思います。

上は成章中学29回、下は高65回までの方に参加いただきましたが、今後は若い方の参加を増やしていきたいと思います。

岩本文彦（高26回）

岐阜成章会

会長　中神　定（高19回）

梅雨の晴れ間の6月29日（土）に長良川温泉「石金」で第40回岐阜成章会の総会、懇親会が開催されました。連日降り続いていた雨が嘘のような晴天で、川面にキラキラ太陽の光が反射する清流長良川と山の上の岐阜城を眺めながらの開催となりました。本部の石黒会長、青山校長をはじめ9名のご来賓の方々を含めて総勢34名のご参加をいただきました。

中神会長からは岐阜の特徴や県民の特徴（外食大好き、喫茶店大好きなど）が説明され、我が岐阜県の魅力を再確認しました。

青山校長から成章高校の近況と母校の高校生の特徴などがいきいきと説明されました。また。武山副会長（高12回）が杉本靖子さん（高3回、東京都渋谷区）からいただいた太田洋愛画伯（旧制成章中学）の植物画を母校に贈呈させていただきました。末永く後輩たちにも見てほしいと願います。

岐阜恒例のアトラクションは、日本音楽療法学会認定音楽療法士の光嶋康子さんに「歌って　笑って　いつまでも青春」の音楽活動をお願いいたしました。～笑顔でいつまでも若々しく！～ということで、準備運動の軽いストレッチ運動、滑舌練習、パタカラ発声から始まりました。その後、田原のシンボルの菜の花にちなみ「朧月夜」や「浜辺の歌」など7曲歌い、雨にちなんだイントロ当てクイズも5曲しました。当たった方には賞品も用意されました。最後に、「涙そうそう」の曲に合わせてグループごとに順番にベルを振っていただき、笑い一杯の和やかな雰囲気で1時間の会があっという間に過ぎました。

次は、名物のじゃんけん大会です。鳥居さん（高28回）の名調子に合わせて、濱中さん（高21回）手作りのバッグや武山副会長の手描きのアートワークや柿羊羹などの名産品をゲットしていただきました。

最後は、校歌を河邉さん（高43回）、応援歌を関西成章会会長の中村さん（高11回）のリードで熱唱し、参加者全員での記念撮影で終えました。

岐阜成章会は、小ぶりですが、スタッフ一同知恵を出し合って準備しました。参加いただきましたご来賓、他地区の同窓生の皆様のご協力で無事終わることができましたこと、心より感謝申し上げます。来年の再会を誓って散会となりました。

光嶋康一（高23回）